



# 森が動く①

— 草むしり —

刈ていうのは、年寄のやるものと思  
つていました。学校の練習で畑の除草。  
夏休みも除草。と若い頃から雑草と  
お付き合います。就職してからは、  
お機を、就職してからも、鎌や刈  
草刈をやって下刈作業、庁舎周辺の  
富なわけです。のだから、経験豊  
やっつて興味なくとも、長いこと  
の危険も顧みず、今では、熱中症  
の危も顧みず、タンポポが根の先  
まで格闘しながら、草むしりに精を  
出しています。年寄になつていたの  
で、気が付けば、見た目もくたびれ  
てきました。(実際、見た目もくたびれ

— シラカバ —

家の周りで、草むしりをしている  
家は、容姿の違つたものが、雑草と  
は、容姿の違つたものが、雑草と  
くさうになり、見覚えのある葉つ  
ばが、ついでに、見覚えのある葉つ  
カバのようです。よく見るとシラ

シラカバは、材質が柔らかく木材  
としての利用価値は低いのですが、  
他の木(茶や灰色)と違い樹皮が白  
く、爽やかな高原のイメージがあり  
ます。見た目で好感度を稼いでい  
る木です。  
実際、木肌を白と黒のチョコレ  
イトで表現したバウムクーヘンや羊  
羹があるなど、食品にその姿が採用  
されているのだから、良い印象を持  
つて、歌の世界でも「明るい青空  
白樺林」(古いなあ)、「白樺 青空」  
とヒット曲にも登場(青空がつきも  
のです)。木の名称としても広く  
知れ渡つて、生えてきたシラカバをどう  
取り扱うか。  
雷別地区自然再生事業地なら、大  
切に扱ふところですが、我が家で自  
然再生はやっていません。  
丸太にする気もありません。  
しかし、このまま放置するとあつ  
つという間に生長して、立派な木にな  
り、切り倒すにしても大事になるので、  
シラカバの実生への警戒を厳にして、  
発見し、水際作戦で成長す  
る時を、あつた、小さな時に、抜き取  
つて、指先で簡単に処理できま  
す。

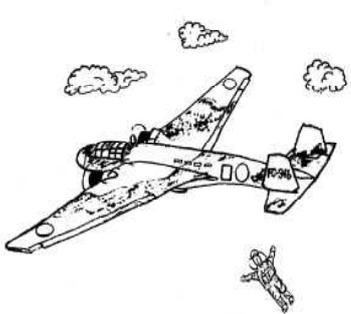


シラカバの種、翼がついています。  
(10円硬貨と比べてください、3ミリ程度の大きさです。)

しかし、どこからやってくるの  
か。我が家は、森林ではなく、住  
宅街にあるのですが。  
シラカバは、生育のために明る  
い環境が必要な樹種で成長が早く、  
代表的な先駆樹種です。  
先駆樹種とは、伐採跡地、山火  
事跡地などの木が無くなた場所  
や草地などの木の無い場所に、芽  
つ成に侵入して、短い期間で木にな  
り、成長の基礎を作り出します。  
樹木界の切り込み隊長ですね。

# シラカバ種子散布作戦

降下



⑥

果穂



秋、シラカバの枝にイモ虫みたいなものがぶら下がっています。これは果穂かすいといって種がいっぱいつまっています。

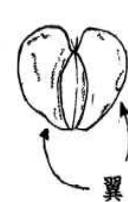
①

たくさん降下してきます



⑦

種



種は、3ミリ程度。小さくて軽く両側に薄い翼が付いています。この翼を利用して風で遠くまで飛ばされます。

翼

②

風に乗って空中移動



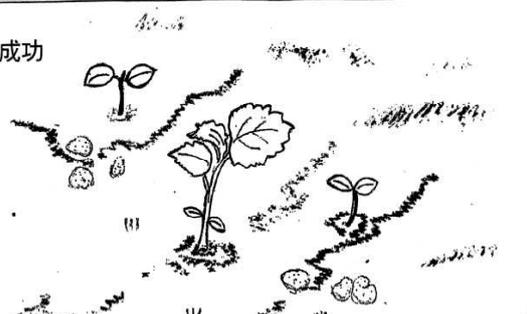
⑧

旅じたくを整え、散布の旅へ



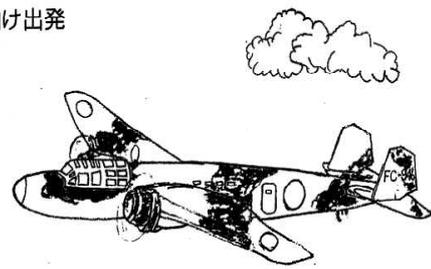
③

発芽に成功



⑨

空に向け出発



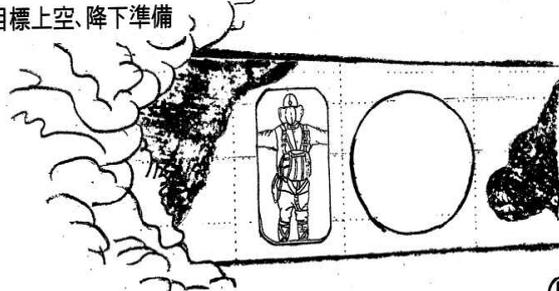
④

残念!



⑩

目標上空、降下準備



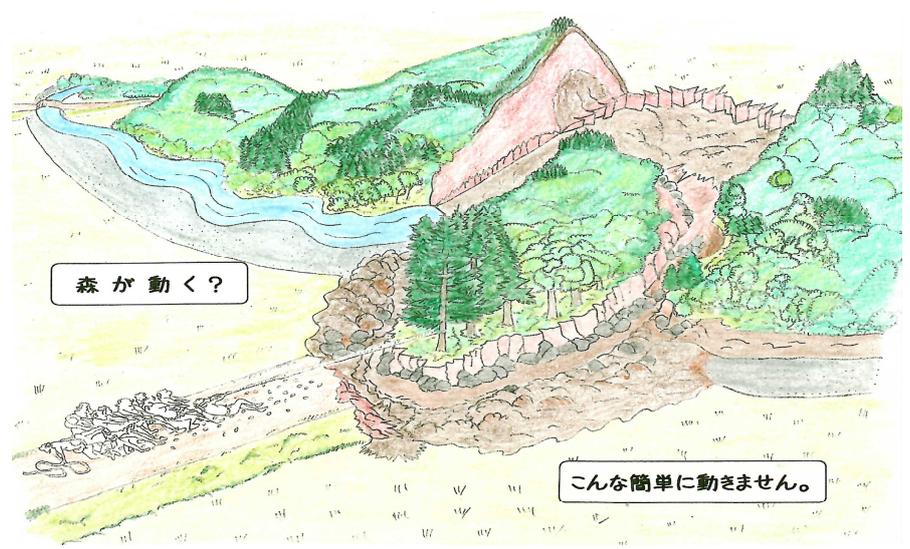
⑤

発芽してから10年程度で、種を小さく軽く、翼があり、その風による散布に適した形をしていす。これは、親の木の下の暗く、子どもは生育できないので、翼を利用して風に乗る、滞留時間の長い場所を求め、遠くに移動するためです。この種を大量に生産して散布します。風を利用して、空から降ってくるので、メナド、パレンパン、グランド・サツなどで行われた落下傘やグライダーを使用した空挺作戦のようです。我が家を見ると、日当たり良好で子孫繁栄の適地に見えるのか。荒涼とした山火事跡地のように見えるのか。育ててくれると、思っているのか。育ててくれる理由が分かりませんが、シラカバに好まれていないようです。クルミやドングリが落ちていけるのですが、シラカバの種で

大きさは、わずか数ミリなので、発見するのは困難です。戦時中、シラカバの着地、発芽はしり好みで、庭先や下草むらあがりの庭先に降下地点の選定を

— 森が動く —

大動地が、徐かなること、林の如く、動くこと、山根を張り、木はつくこと、布をりせ、散り、風を利用してシラカバの散布を、利用法は、さまざま、木の葉、方ズミ、クミ、ミナ、鳥、ネズミ、クミ、ミナ、鳥、使つて、それ、水、工、夫、を、して、その動きは、ゆっくりしたもので、新しい森ができて、何てことも、現役時には、木がなかつたはず、道の床に木が生えていた、鉄道の道床に木が生えていた、を見かけますよ。



今後の予定

\* 2月29日 (月)

釧路湿原自然再生協議会

\*管内の自然情報の収集や情報提供を行っています。下記の内容は、ホームページを随時更新しておりますので是非ご覧下さい。



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11  
 【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305  
 【E-mail】h\_kusiro\_f@maff.go.jp  
 【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro\_fc/index.html

